

【巻頭言】

『マレーシア研究』の創刊に寄せて

日本マレーシア学会 会長

宮崎恒二

日本マレーシア学会の学会誌『マレーシア研究』を創刊します。

学会誌は、学会の学術的な活動状況、活動内容を示す重要な指標です。学問領域を設定し、その領域の専門の研究者が、ピア・レビューにより投稿論文を審査し採否を決定することにより、掲載論文は専門の領域での高度な学術的水準を満たす業績として広く世に認められるものとなります。

すでに研究者としての地位を確立した会員にとっても、また研究者を目指す会員にとっても、自らが関心を寄せる領域において、高い水準での査読を経た論文を世に出すことは大きな意味を持ちます。

日本マレーシア学会は、マレーシアの研究に従事する研究者により、1992年に日本マレーシア研究会として発足しました。当初20名ほどであった会員も、徐々に増加して200名を超え、2010年4月に日本マレーシア学会に改称、日本学術会議の登録団体として新たなスタートを切りました。学会誌の創刊により、名実共に学会としての十分条件を満たしたことになります。

会員の皆さんの長年の願いであった学会誌『マレーシア研究』が、会員の皆さんの積極的な投稿と建設的な査読により、学会内外の注目を浴びる学術誌としての存在を示し、日本とマレーシアを学術的につなぐ場となるよう会員の皆さんのご協力をお願いする次第です。

(みやざき・こうじ 東京外国語大学)